

(別紙様式)

都道府県番号	40
都道府県名	福岡県

()
該当する観点にチェックをすること(下の [] を参照)

・学校名及び規模

那珂川町立岩戸小学校(フロンティアスクール名)									
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	2	2	1	2	1	2	1	11	22
児童数	41	42	34	41	40	43	1	242	

・実践研究の概要(主題(テーマ)及び設定の趣旨)

・主題(テーマ)

子供の「確かな学力」を向上させる学習指導の創造
～ねらいとする学力に応じた指導過程の工夫をとおして～

・テーマ設定の趣旨

(1) 子供の学力の実態から

本校の児童は、意欲的に学習するが、算数科の学習で見通しをたてる段階で、どのような内容を活用すればよいか、何を参考にすればよいかわからずつまづく子供が多い。そこで、見通しや仮説を立案し追究する学習と、見通しを創り出す素地としての知識の獲得定着が必要である。

(2) 子供の「確かな学力」を向上させる学習指導の創造とは

日常の事象から算数的、理科的問題を取り出し、身につけた既習の知識や考え方を駆使し、見通しをもって問題解決していく資質や能力である。そのような次のように大別できると考える。

知っている力(基礎力): 生きてはたらく既習事項・既習経験

使える力(発展力): 生きてはたらく見方・考え方や問題解決力

(3) ねらいとする学力に応じた指導過程の工夫をとおしてとは

基礎力と発展力といった2つの学力に応じた最適な指導形態、単元構成(内容・活動構成)を工夫・開発し、身につけた力が生かされ関連づけられるよう単元配列を行うことである。

ねらい

基礎力

発展力

学習指導

教師主導的指導

問題解決的指導

学習形態

少人数指導

・習熟度別指導

・課題別指導

・方法別指導

一斉指導

TT指導

交換・合同授業

教師主導的学習については子供の興味を高めるために、「体験活動重視型」「ゲーム」「反復練習」を開発する。

・実践研究の内容について（選択した観点を中心に記述）

（ ）研究体制の工夫



本校においては、校長の指導のもと学校全体で学力向上に取り組むことを大切にしている。したがって、研究内容に直接携わらない事務主査や用務員、養護教諭も子供の学力向上のために知恵を出し、企画推進を全職員に投げかけている。落ち着いた清涼感あふれる教育環境、教育備品などの整備、児童の心身の健康状態も学力向上の重要な要素と考えている。

（ ）実践研究の内容

1 実施学年 第4学年 算数科学習（習熟度学習）

2 単元名 分数

3 めざす児童像

分数のよさに気づき、進んで分数を用いようとするができる。

等分したものの大きさや、長さやかさの単位量に満たない端数部分の大きさを分数で表すことができる。

分数の意味、表し方、大小関係が理解でき、整数、小数との相互関係を理解することができる。

真分数、仮分数、帯分数の用語とその意味がわかり、相互関係が理解できる。

4 学習を行う上での留意点

（1）習熟度別指導のねらい

分数の学習において、子供たちの理解の差異は大きい。そこで、学習のまとめの段階において、「具体物の比較から同分母分数の大きさを比較する」グループ、「具体物を用いず同分母分数の大きさを比較する」グループ、「異分母分数から大きさを比較する」グループの3グループに分け補充的学習・発展的学習を展開する。

5 単元の流れ

第1次 分数の意味・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10時間

第2次 いろいろな分数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2時間

第3次 分数の大きさ・分数の大小関係や、分数小数の関係・・・・2時間

自己診断テスト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1時間

コース別分数の大小関係の追究・・・・・・・・・・・・2時間

6 習熟度別コースに分かれた学習

（1）発展的学習：Aコース

学 習 活 動	教師の支援	評価規準・方法	配時
1 大小問題場面での課題をつかむ。 ジュース $7/10$ と $4/5$ とでは、どちらが大きいでしょう。	同分母分数の比較から、異分母分数の大きさを投げかける。 違う大きさの容器に入ったものは同じ大きさの容器に入れれば比較が可能であるという	異分母分数の大きさを比べてみようという意欲をもつことができる 全体を1にすれば比較が可能なのに気づくことが	2
2 本時課題から見通しを持つ。 1の大きさをそろえて、どちらのジュースの量が多いかを比べよう。			
3 見通しをもとに調べる。 ・テープ図 ・数直線図			

・ます図	見通しをもたせる。 予想される方法 (ます図、テープ図、 数直線)を教師が 提示する。	できる。 自分なりの 表現方法を選 び、全体量を 1にする大小 比較を示すこ とができる。	
4 本時学習のまとめをする。			

(2) 補充的学習：Bコース

学 習 活 動	教師の支援	評価規準・方法	配時
1 同分母分数の比較を行う。 分母が / 5 の分数カードを使っ て、大きさ比べゲームをしよう。	同分母真分数を 示し、比較させる。	同分母分数 を比べてみた いという意欲 をもつことが できる。	2
2 ゲームのルールを知り、真分数 で試しのゲームを行う。 1 / 5 2 / 5 3 / 5 4 / 5	同分母真分数を 沢山比較させ、ゲ ームのルールをつ かませる。	真分数の比 較を定着する ことができ る。	
3 仮分数、帯分数の比較まで発展 したゲームを行う。 < 1 回戦 > 真分数や仮分数の大きさを比較 < 2 回戦 > 帯分数を加えた比較 < 3 回戦 > 分母を選んで大きさを比較	$\frac{1}{6}$ $\frac{1}{7}$ $\frac{1}{8}$ $\frac{1}{9}$ など分母の数値 を変えて同分母 の分数で比較さ せる。	仮分数、帯 分数を含めた 分数の大小比 較を行うこと ができる	
4 本時学習のまとめをする。			

(3) 補充的学習：Cコース

学 習 活 動	教師の支援	評価規準・方法	配時
1 これまでの学習を想起させるた めに、整数、小数、分数の大小比 較を行う。 中身が見えない $\frac{2}{4}$ と $\frac{3}{4}$ を手にしたせ比較。どちらが多い でしょう。	いきなり分数を 示すのではなく、 整数、小数から示 し比較させる。 マス図、単位分 数カード、リット ルますなど多様な 追究方法を準備し、 選択させる。 マス図を用いて、 自分の根拠を記載 させる。	量を比較し ていきたいと いう意欲をも つ。 多様な方法 を用いて分数 の大小比較を 行うことがで きる。 マス図を使 い根拠を示す ことができる。	2
2 自分なりの見通しをもつ ・色々なます図 ・単位分数カード ・リットルます			
3 見通しをもとに調べる ・マス図を使い根拠を表現			

() 成果と課題

百マス計算や視写タイムで培った計算力や視写力が向上している。
次年度4月と本年度4月の学力テストを比較して問題解決力などの伸びを分析する必要がある。

() 成果の普及方策

実践交流会を開き、管内の全ての小学校から管理職1名、教諭1名が参加。

